

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2015年1月26日～2020年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	α50コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）」Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）」Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	α50コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	α100コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ・ブラジル・レアル債α
（毎月分配型）
－スーパー・ハインカム－
α50コース／α100コース

運用報告書（全体版）

第24期（決算日	2017年2月17日）
第25期（決算日	2017年3月17日）
第26期（決算日	2017年4月17日）
第27期（決算日	2017年5月17日）
第28期（決算日	2017年6月19日）
第29期（決算日	2017年7月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－α50コース／α100コース」は、このたび、第29期の決算を行ないました。

ここに、第24期～第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3254>
<3255>

α50コース

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 3 月17日)	8,308	120	△15.7	8,014	△19.9	0.0	98.0	287
2 期末 (2015年 4 月17日)	8,640	120	5.4	8,716	8.8	1.2	99.5	290
3 期末 (2015年 5 月18日)	8,727	120	2.4	8,898	2.1	1.0	95.8	326
4 期末 (2015年 6 月17日)	8,649	120	0.5	8,907	0.1	0.0	99.3	317
5 期末 (2015年 7 月17日)	8,587	120	0.7	8,924	0.2	0.0	98.4	320
6 期末 (2015年 8 月17日)	7,746	120	△ 8.4	8,028	△10.0	0.0	99.8	291
7 期末 (2015年 9 月17日)	6,752	120	△11.3	6,879	△14.3	0.0	99.1	307
8 期末 (2015年10月19日)	6,658	120	0.4	6,613	△ 3.9	0.0	99.4	344
9 期末 (2015年11月17日)	6,843	120	4.6	7,137	7.9	0.0	98.9	357
10期末 (2015年12月17日)	6,495	80	△ 3.9	6,946	△ 2.7	0.0	99.5	351
11期末 (2016年 1 月18日)	6,139	80	△ 4.2	6,448	△ 7.2	0.0	99.7	333
12期末 (2016年 2 月17日)	6,058	80	△ 0.0	6,473	0.4	0.0	99.7	330
13期末 (2016年 3 月17日)	6,515	80	8.9	7,262	12.2	0.0	99.7	357
14期末 (2016年 4 月18日)	6,802	80	5.6	7,718	6.3	0.0	99.7	347
15期末 (2016年 5 月17日)	6,951	80	3.4	8,057	4.4	0.0	99.6	318
16期末 (2016年 6 月17日)	6,664	80	△ 3.0	7,841	△ 2.7	0.0	99.5	264
17期末 (2016年 7 月19日)	7,110	80	7.9	8,706	11.0	0.0	99.3	314
18期末 (2016年 8 月17日)	6,992	80	△ 0.5	8,507	△ 2.3	0.0	98.5	331
19期末 (2016年 9 月20日)	6,842	80	△ 1.0	8,474	△ 0.4	—	99.2	331
20期末 (2016年10月17日)	7,245	80	7.1	9,101	7.4	0.0	99.4	354
21期末 (2016年11月17日)	6,964	80	△ 2.8	8,803	△ 3.3	0.0	99.3	321
22期末 (2016年12月19日)	7,344	80	6.6	9,791	11.2	0.0	99.7	762
23期末 (2017年 1 月17日)	7,595	80	4.5	10,294	5.1	0.0	99.3	885
24期末 (2017年 2 月17日)	7,895	80	5.0	10,964	6.5	0.0	98.3	602
25期末 (2017年 3 月17日)	7,850	80	0.4	11,048	0.8	0.0	96.4	1,118
26期末 (2017年 4 月17日)	7,587	80	△ 2.3	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	1,133
27期末 (2017年 5 月17日)	7,888	80	5.0	11,375	7.6	0.0	99.8	1,224
28期末 (2017年 6 月19日)	7,200	80	△ 7.7	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	1,228
29期末 (2017年 7 月18日)	7,503	80	5.3	11,218	6.8	—	99.7	1,343

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は 、 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) を も と に 円 換 算 し 、 当 フ ァ ン ド 設 定 日 を 10,000 と し て 大 和 投 資 信 託 が 計 算 し た も の で す 。 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) は 、 信 頼 性 が 高 い と み な す 情 報 に 基 づ き 作 成 し て い ま す が 、 J.P. Morgan は そ の 完 全 性 ・ 正 確 性 を 保 証 す る も の で は あ り ま せ ン 。 本 指 数 は 許 諾 を 受 け て 使 用 し て い ま す 。 J.P. Morgan か ら の 書 面 に よ る 事 前 承 認 な し に 本 指 数 を 複 製 ・ 使 用 ・ 頒 布 す る こ と は 認 め ら れ て い ま せ ン 。 Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

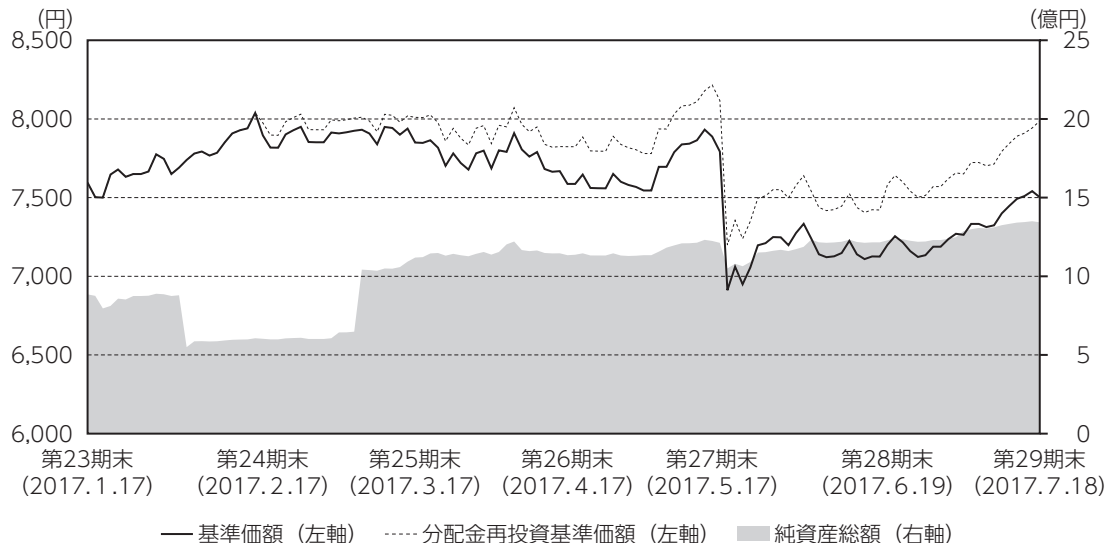
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第24期首：7,595円

第29期末：7,503円（既払分配金480円）

騰 落 率：5.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことや為替相場が上昇したことが寄与し、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入も、安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブラジル (円換 算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第24期	(期首) 2017年 1 月17日	円 7,595	% -	10,294	% -	% 0.0	% 99.3
	1 月末	7,746	2.0	10,709	4.0	0.0	99.7
	(期末) 2017年 2 月17日	7,975	5.0	10,964	6.5	0.0	98.3
第25期	(期首) 2017年 2 月17日	7,895	-	10,964	-	0.0	98.3
	2 月末	7,852	△0.5	10,896	△0.6	0.0	99.6
	(期末) 2017年 3 月17日	7,930	0.4	11,048	0.8	0.0	96.4
第26期	(期首) 2017年 3 月17日	7,850	-	11,048	-	0.0	96.4
	3 月末	7,799	△0.6	10,896	△1.4	-	99.1
	(期末) 2017年 4 月17日	7,667	△2.3	10,571	△4.3	0.0	99.8
第27期	(期首) 2017年 4 月17日	7,587	-	10,571	-	0.0	99.8
	4 月末	7,568	△0.3	10,720	1.4	0.0	99.5
	(期末) 2017年 5 月17日	7,968	5.0	11,375	7.6	0.0	99.8
第28期	(期首) 2017年 5 月17日	7,888	-	11,375	-	0.0	99.8
	5 月末	7,198	△8.7	10,456	△8.1	0.0	99.7
	(期末) 2017年 6 月19日	7,280	△7.7	10,503	△7.7	0.0	99.7
第29期	(期首) 2017年 6 月19日	7,200	-	10,503	-	0.0	99.7
	6 月末	7,270	1.0	10,570	0.6	0.0	99.4
	(期末) 2017年 7 月18日	7,583	5.3	11,218	6.8	-	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.1.18～2017.7.18)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は低下（債券価格は上昇）しました。当作成期間は、インフレ率が低下する中でブラジル中央銀行が継続的に利下げを行ない、金利は低下しました。中央銀行のCopom（金融政策委員会）の議事要旨やインフレ報告書が利下げペースの加速を示唆する内容であったことも、金利の低下に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報道されたことで、財政健全化への不透明感が高まり、一時的に金利が上昇する局面もありました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で小幅に上昇しました。財政再建期待が高まったことがレアル上昇の材料になりました。また、世界的に株価が堅調に推移したことや、鉄鉱石等の価格が安定していたことで投資家のリスク選好姿勢が強まったことなども、レアルの上昇に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により、政治の不透明感が大きく高まったことや財政改革等が滞るとの懸念が高まったことから、一時的にレアルが下落する局面がありました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）はおおむね安定して推移しました。テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑による市場の動揺により、ボラティリティが上昇する局面がありましたが、財政改革期待および中央銀行の金融緩和政策などからブラジル経済に対する不透明感が後退したことが寄与しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2017.1.18～2017.7.18)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

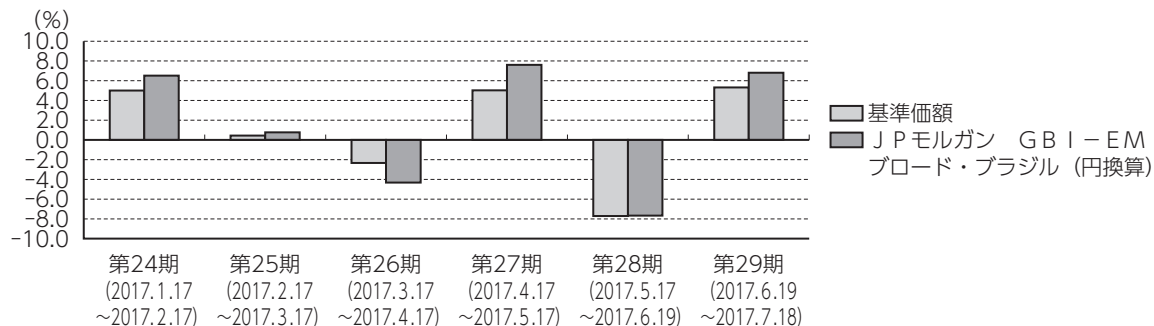
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第24期～第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第24期 2017年1月18日 ～2017年2月17日	第25期 2017年2月18日 ～2017年3月17日	第26期 2017年3月18日 ～2017年4月17日	第27期 2017年4月18日 ～2017年5月17日	第28期 2017年5月18日 ～2017年6月19日	第29期 2017年6月20日 ～2017年7月18日
当期分配金（税込み）	(円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率	(%)	1.00	1.01	1.04	1.00	1.10	1.05
当期の収益	(円)	80	62	80	80	80	80
当期の収益以外	(円)	—	17	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,310	2,344	2,400	2,443	2,477	2,520

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	99.53円	62.89円	130.17円	119.04円	114.65円	120.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,892.28	2,141.36	2,162.63	2,176.76	2,207.21	2,224.81
(d) 分配準備積立金	396.94	220.04	187.39	227.26	236.07	255.52
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,390.66	2,424.31	2,480.20	2,523.08	2,557.95	2,600.66
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,310.66	2,344.31	2,400.20	2,443.08	2,477.95	2,520.66

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期 (2017.1.18～2017.7.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.604%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,596円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(29)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	10	0.128	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(10)	(0.128)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.736	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

決 算 期	第 24 期 ～ 第 29 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	20,306.648	1,084,401	10,558.432	570,856

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

第 24 期				～	第 29 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	18,358.419	983,600	53		DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	10,558.432	570,856	54

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第24期～第29期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

決 算 期		第 24 期			～	第 29 期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C		
公社債	百万円 30,500	百万円 5,480	% 18.0	百万円 －	百万円 －	% －		
コール・ローン	1,215,651	－	－	－	－	－		

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	第 29 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	千□	千円	%
	26,087.964	1,339,564	99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項 目	第 29 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,339,564	% 98.6
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	19,184	1.4
投資信託財産総額	1,358,798	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 29 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千□ 49	千円 49

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月17日)、(2017年3月17日)、(2017年4月17日)、(2017年5月17日)、(2017年6月19日)、(2017年7月18日)現在

項 目	第 24 期 末	第 25 期 末	第 26 期 末	第 27 期 末	第 28 期 末	第 29 期 末
(A) 資産	609,735,422円	1,131,080,103円	1,147,144,394円	1,238,378,804円	1,243,423,657円	1,358,798,922円
コール・ローン等	16,771,965	52,770,622	15,653,082	16,579,965	18,682,371	19,184,174
投資信託受益証券(評価額)	592,913,477	1,078,259,501	1,131,441,337	1,221,748,864	1,224,691,316	1,339,564,778
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,980	49,980	49,975	49,975	49,970	49,970
(B) 負債	6,871,854	12,117,496	13,157,952	13,719,792	14,971,596	15,600,830
未払収益分配金	6,108,452	11,404,066	11,956,386	12,420,897	13,648,887	14,322,043
未払解約金	—	788	—	120,702	—	749
未払信託報酬	758,360	702,932	1,183,911	1,152,933	1,288,873	1,235,976
その他未払費用	5,042	9,710	17,655	25,260	33,836	42,062
(C) 純資産総額(A－B)	602,863,568	1,118,962,607	1,133,986,442	1,224,659,012	1,228,452,061	1,343,198,092
元本	763,556,616	1,425,508,301	1,494,548,357	1,552,612,205	1,706,110,907	1,790,255,390
次期繰越損益金	△160,693,048	△ 306,545,694	△ 360,561,915	△ 327,953,193	△ 477,658,846	△ 447,057,298
(D) 受益権総口数	763,556,616□	1,425,508,301□	1,494,548,357□	1,552,612,205□	1,706,110,907□	1,790,255,390□
1万口当り基準価額(C/D)	7,895円	7,850円	7,587円	7,888円	7,200円	7,503円

* 第23期末における元本額は1,165,396,295円、当作成期間（第24期～第29期）中における追加設定元本額は1,445,587,843円、同解約元本額は820,728,748円です。
* 第29期末の計算口数当りの純資産額は7,503円です。
* 第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は447,057,298円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

■損益の状況

第24期 自2017年1月18日 至2017年2月17日 第27期 自2017年4月18日 至2017年5月17日
 第25期 自2017年2月18日 至2017年3月17日 第28期 自2017年5月18日 至2017年6月19日
 第26期 自2017年3月18日 至2017年4月17日 第29期 自2017年6月20日 至2017年7月18日

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(A) 配当等収益	7,818,561円	9,673,926円	20,646,801円	18,851,690円	20,858,659円	21,937,782円
受取配当金	7,820,144	9,675,162	20,647,911	18,852,263	20,859,331	21,938,618
受取利息	253	－	－	－	1	－
支払利息	△ 1,836	△ 1,236	△ 1,110	△ 573	△ 673	△ 836
(B) 有価証券売買損益	19,481,521	△ 6,002,435	△ 46,300,539	40,595,054	△ 109,874,331	46,938,473
売買益	23,691,690	143,877	347,139	40,641,094	550,394	46,928,209
売買損	△ 4,210,169	△ 6,146,312	△ 46,647,678	△ 46,040	△ 110,424,725	10,264
(C) 信託報酬等	△ 763,402	△ 707,600	△ 1,191,889	△ 1,160,659	△ 1,297,449	△ 1,244,202
(D) 当期損益(A+B+C)	26,536,680	2,963,891	△ 26,845,627	58,286,085	△ 90,313,121	67,632,053
(E) 前期繰越損益金	11,517,531	31,368,287	22,196,010	△ 16,503,339	28,601,417	△ 74,636,461
(F) 追加信託差損益金	△ 192,638,807	△ 329,473,806	△ 343,955,912	△ 357,315,042	△ 402,298,255	△ 425,730,847
(配当等相当額)	(144,486,379)	(305,253,745)	(323,216,478)	(337,967,483)	(376,575,811)	(398,297,945)
(売買損益相当額)	(△ 337,125,186)	(△ 634,727,551)	(△ 667,172,390)	(△ 695,282,525)	(△ 778,874,066)	(△ 824,028,792)
(G) 合計(D + E + F)	△ 154,584,596	△ 295,141,628	△ 348,605,529	△ 315,532,296	△ 464,009,959	△ 432,735,255
(H) 収益分配金	△ 6,108,452	△ 11,404,066	△ 11,956,386	△ 12,420,897	△ 13,648,887	△ 14,322,043
次期繰越損益金(G+H)	△ 160,693,048	△ 306,545,694	△ 360,561,915	△ 327,953,193	△ 477,658,846	△ 447,057,298
追加信託差損益金	△ 192,638,807	△ 329,473,806	△ 343,955,912	△ 357,315,042	△ 402,298,255	△ 425,730,847
(配当等相当額)	(144,486,379)	(305,253,745)	(323,216,478)	(337,967,483)	(376,575,811)	(398,297,945)
(売買損益相当額)	(△ 337,125,186)	(△ 634,727,551)	(△ 667,172,390)	(△ 695,282,525)	(△ 778,874,066)	(△ 824,028,792)
分配準備積立金	31,945,759	28,930,547	35,505,311	41,348,552	46,190,001	52,965,624
繰越損益金	－	△ 6,002,435	△ 52,111,314	△ 11,986,703	△ 121,550,592	△ 74,292,075

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,599,923円	8,966,326円	19,454,911円	18,483,644円	19,561,209円	21,541,503円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	145,282	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	144,486,379	305,253,745	323,216,478	337,967,483	376,575,811	398,297,945
(d) 分配準備積立金	30,309,006	31,368,287	28,006,786	35,285,805	40,277,679	45,746,164
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	182,540,590	345,588,358	370,678,175	391,736,932	436,414,699	465,585,612
(f) 分配金	6,108,452	11,404,066	11,956,386	12,420,897	13,648,887	14,322,043
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	176,432,138	334,184,292	358,721,789	379,316,035	422,765,812	451,263,569
(h) 受益権総口数	763,556,616口	1,425,508,301口	1,494,548,357口	1,552,612,205口	1,706,110,907口	1,790,255,390口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,895円)	(7,850円)	(7,587円)	(7,888円)	(7,200円)	(7,503円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

α100コース

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 3 月17日)	8,486	180	△13.3	8,014	△19.9	0.0	97.9	503
2 期末 (2015年 4 月17日)	8,764	180	5.4	8,716	8.8	1.6	95.2	564
3 期末 (2015年 5 月18日)	8,802	180	2.5	8,898	2.1	1.4	99.8	685
4 期末 (2015年 6 月17日)	8,748	180	1.4	8,907	0.1	0.0	98.8	760
5 期末 (2015年 7 月17日)	8,652	180	1.0	8,924	0.2	0.0	98.1	830
6 期末 (2015年 8 月17日)	7,829	180	△ 7.4	8,028	△10.0	0.0	99.7	781
7 期末 (2015年 9 月17日)	6,811	180	△10.7	6,879	△14.3	0.0	98.2	705
8 期末 (2015年10月19日)	6,712	180	1.2	6,613	△ 3.9	0.0	99.5	651
9 期末 (2015年11月17日)	6,800	180	4.0	7,137	7.9	0.0	97.8	679
10期末 (2015年12月17日)	6,450	120	△ 3.4	6,946	△ 2.7	0.0	99.9	662
11期末 (2016年 1 月18日)	6,118	120	△ 3.3	6,448	△ 7.2	0.0	99.5	632
12期末 (2016年 2 月17日)	6,044	120	0.8	6,473	0.4	0.0	99.5	624
13期末 (2016年 3 月17日)	6,469	120	9.0	7,262	12.2	0.0	99.5	672
14期末 (2016年 4 月18日)	6,733	120	5.9	7,718	6.3	0.0	99.6	706
15期末 (2016年 5 月17日)	6,913	120	4.5	8,057	4.4	0.0	99.5	684
16期末 (2016年 6 月17日)	6,673	120	△ 1.7	7,841	△ 2.7	0.0	99.4	617
17期末 (2016年 7 月19日)	6,995	120	6.6	8,706	11.0	0.0	98.1	584
18期末 (2016年 8 月17日)	6,904	120	0.4	8,507	△ 2.3	0.0	99.4	609
19期末 (2016年 9 月20日)	6,745	120	△ 0.6	8,474	△ 0.4	—	99.4	664
20期末 (2016年10月17日)	7,040	120	6.2	9,101	7.4	0.0	95.9	882
21期末 (2016年11月17日)	6,763	120	△ 2.2	8,803	△ 3.3	0.0	99.6	1,105
22期末 (2016年12月19日)	7,019	120	5.6	9,791	11.2	0.0	98.3	1,295
23期末 (2017年 1 月17日)	7,098	120	2.8	10,294	5.1	0.0	93.9	1,647
24期末 (2017年 2 月17日)	7,312	120	4.7	10,964	6.5	0.0	98.6	2,011
25期末 (2017年 3 月17日)	7,273	120	1.1	11,048	0.8	0.0	99.5	2,482
26期末 (2017年 4 月17日)	7,036	120	△ 1.6	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	2,777
27期末 (2017年 5 月17日)	7,204	120	4.1	11,375	7.6	0.0	99.3	3,491
28期末 (2017年 6 月19日)	6,657	120	△ 5.9	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	3,954
29期末 (2017年 7 月18日)	6,802	120	4.0	11,218	6.8	—	98.3	4,869

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は 、 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) を も と に 円 換 算 し 、 当 フ ァ ン ド 設 定 日 を 10,000 と し て 大 和 投 資 信 託 が 計 算 し た も の で す 。 J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) は 、 信 頼 性 が 高 い と み な す 情 報 に 基 づ き 作 成 し て い ま す が 、 J.P. Morgan は そ の 完 全 性 ・ 正 確 性 を 保 証 す る も の で は あ り ま せ ン 。 本 指 数 は 許 諾 を 受 け て 使 用 し て い ま す 。 J.P. Morgan か ら の 書 面 に よ る 事 前 承 認 な し に 本 指 数 を 複 製 ・ 使 用 ・ 頒 布 す る こ と は 認 め ら れ て い ま せ ン 。 Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

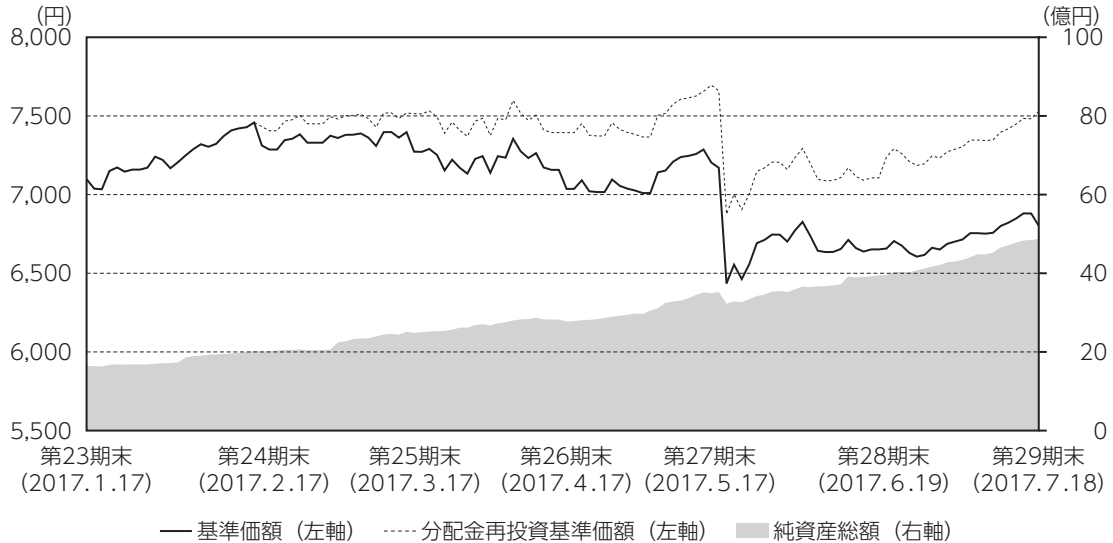
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第24期首：7,098円

第29期末：6,802円（既払分配金720円）

騰 落 率：6.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことや為替相場が上昇したことが寄与し、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入も、安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブラジル (円換 算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第24期	(期首) 2017年1月17日	円 7,098	% -	10,294	% -	% 0.0	% 93.9
	1月末	7,220	1.7	10,709	4.0	0.0	99.1
	(期末) 2017年2月17日	7,432	4.7	10,964	6.5	0.0	98.6
第25期	(期首) 2017年2月17日	7,312	-	10,964	-	0.0	98.6
	2月末	7,330	0.2	10,896	△0.6	0.0	99.8
	(期末) 2017年3月17日	7,393	1.1	11,048	0.8	0.0	99.5
第26期	(期首) 2017年3月17日	7,273	-	11,048	-	0.0	99.5
	3月末	7,244	△0.4	10,896	△1.4	-	99.3
	(期末) 2017年4月17日	7,156	△1.6	10,571	△4.3	0.0	99.8
第27期	(期首) 2017年4月17日	7,036	-	10,571	-	0.0	99.8
	4月末	7,026	△0.1	10,720	1.4	0.0	98.6
	(期末) 2017年5月17日	7,324	4.1	11,375	7.6	0.0	99.3
第28期	(期首) 2017年5月17日	7,204	-	11,375	-	0.0	99.3
	5月末	6,702	△7.0	10,456	△8.1	0.0	99.9
	(期末) 2017年6月19日	6,777	△5.9	10,503	△7.7	0.0	99.7
第29期	(期首) 2017年6月19日	6,657	-	10,503	-	0.0	99.7
	6月末	6,702	0.7	10,570	0.6	0.0	99.7
	(期末) 2017年7月18日	6,922	4.0	11,218	6.8	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.1.18～2017.7.18)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は低下（債券価格は上昇）しました。当作成期間は、インフレ率が低下する中でブラジル中央銀行が継続的に利下げを行ない、金利は低下しました。中央銀行のCopom（金融政策委員会）の議事要旨やインフレ報告書が利下げペースの加速を示唆する内容であったことも、金利の低下に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報道されたことで、財政健全化への不透明感が高まり、一時的に金利が上昇する局面もありました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で小幅に上昇しました。財政再建期待が高まったことがレアル上昇の材料になりました。また、世界的に株価が堅調に推移したことや、鉄鉱石等の価格が安定していたことで投資家のリスク選好姿勢が強まったことなども、レアルの上昇に寄与しました。しかし、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により、政治の不透明感が大きく高まったことや財政改革等が滞るとの懸念が高まったことから、一時的にレアルが下落する局面がありました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）はおおむね安定して推移しました。テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑による市場の動揺により、ボラティリティが上昇する局面がありましたが、財政改革期待および中央銀行の金融緩和政策などからブラジル経済に対する不透明感が後退したことが寄与しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レート（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2017.1.18～2017.7.18)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

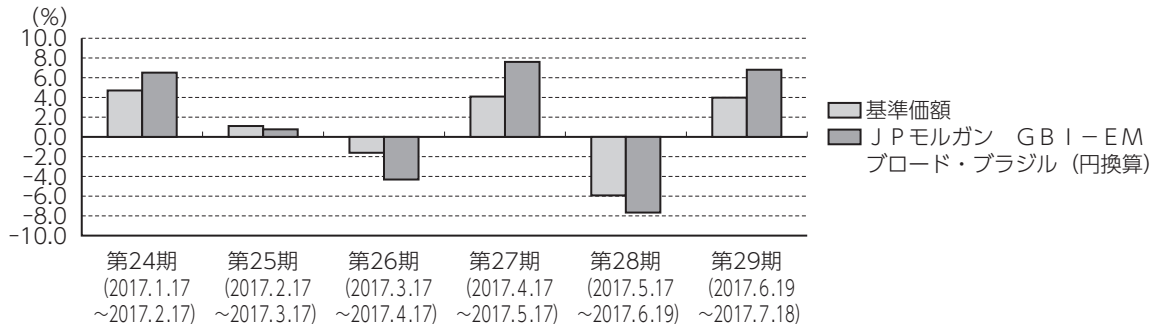
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第24期～第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第24期 2017年1月18日 ～2017年2月17日	第25期 2017年2月18日 ～2017年3月17日	第26期 2017年3月18日 ～2017年4月17日	第27期 2017年4月18日 ～2017年5月17日	第28期 2017年5月18日 ～2017年6月19日	第29期 2017年6月20日 ～2017年7月18日
当期分配金（税込み）	(円)	120	120	120	120	120	120
対基準価額比率	(%)	1.61	1.62	1.68	1.64	1.77	1.73
当期の収益	(円)	120	120	120	120	120	120
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,330	3,371	3,444	3,494	3,544	3,597

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	155.58円	142.49円	184.73円	152.51円	154.23円	157.58円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,559.63	2,736.09	2,830.99	2,962.93	3,078.65	3,173.65
(d) 分配準備積立金	734.80	612.60	549.23	499.19	431.20	385.78
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,450.02	3,491.19	3,564.96	3,614.64	3,664.09	3,717.02
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,330.02	3,371.19	3,444.96	3,494.64	3,544.09	3,597.02

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期 (2017.1.18～2017.7.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0.604%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,057円です。
（投 信 会 社）	(15)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(27)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.006	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(0)	(0.006)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.613	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

決 算 期	第 24 期 ～ 第 29 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	89,661.334	3,556,953	1,123.415	47,904

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

第 24 期 ～				第 29 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	77,990.68	3,099,200	39	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	1,123.415	47,904	42

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第24期～第29期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

決 算 期	第 24 期			第 29 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
区 分						
公社債	百万円 30,500	百万円 5,480	% 18.0	百万円 －	百万円 －	% －
コール・ローン	1,215.651	－	－	－	－	－

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビ－ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	第 29 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	125,417,605	4,786,688	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項 目	第 29 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,786,688	% 96.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	173,303	3.5
投資信託財産総額	4,960,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 29 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千□ 49	千円 49

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月17日)、(2017年3月17日)、(2017年4月17日)、(2017年5月17日)、(2017年6月19日)、(2017年7月18日)現在

項 目	第 24 期 末	第 25 期 末	第 26 期 末	第 27 期 末	第 28 期 末	第 29 期 末
(A) 資産	2,046,612,178円	2,532,959,398円	2,827,213,217円	3,553,128,290円	4,029,630,057円	4,960,041,919円
コール・ローン等	62,819,716	63,081,202	54,686,197	84,923,517	85,535,074	173,303,635
投資信託受益証券(評価額)	1,983,742,482	2,469,828,216	2,772,477,045	3,468,154,798	3,944,045,013	4,786,688,314
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,980	49,980	49,975	49,975	49,970	49,970
(B) 負債	34,893,592	50,524,620	50,166,392	61,277,239	75,330,604	90,283,740
未払収益分配金	33,017,062	40,956,783	47,360,067	58,164,083	71,280,648	85,916,428
未払解約金	11,917	7,489,277	－	2,174	662	－
未払信託報酬	1,852,279	2,052,556	2,761,809	3,046,289	3,958,233	4,247,945
その他未払費用	12,334	26,004	44,516	64,693	91,061	119,367
(C) 純資産総額(A－B)	2,011,718,586	2,482,434,778	2,777,046,825	3,491,851,051	3,954,299,453	4,869,758,179
元本	2,751,421,844	3,413,065,281	3,946,672,331	4,847,006,978	5,940,054,051	7,159,702,411
次期繰越損益金	△ 739,703,258	△ 930,630,503	△ 1,169,625,506	△ 1,355,155,927	△ 1,985,754,598	△ 2,289,944,232
(D) 受益権総口数	2,751,421,844□	3,413,065,281□	3,946,672,331□	4,847,006,978□	5,940,054,051□	7,159,702,411□
1万口当り基準価額(C/D)	7,312円	7,273円	7,036円	7,204円	6,657円	6,802円

* 第23期末における元本額は2,320,461,809円、当作成期間（第24期～第29期）中における追加設定元本額は5,038,607,407円、同解約元本額は199,366,805円です。
* 第29期末の計算口数当りの純資産額は6,802円です。
* 第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,289,944,232円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース

■損益の状況

第24期 自2017年1月18日 至2017年2月17日 第27期 自2017年4月18日 至2017年5月17日
 第25期 自2017年2月18日 至2017年3月17日 第28期 自2017年5月18日 至2017年6月19日
 第26期 自2017年3月18日 至2017年4月17日 第29期 自2017年6月20日 至2017年7月18日

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(A) 配当等収益	43,768,590円	50,700,485円	75,688,445円	75,655,768円	95,601,942円	115,501,073円
受取配当金	43,770,899	50,702,897	75,690,560	75,659,555	95,606,318	115,505,155
受取利息	19	3	－	1	4	－
支払利息	△ 2,328	△ 2,415	△ 2,115	△ 3,788	△ 4,380	△ 4,082
(B) 有価証券売買損益	41,112,560	△ 24,558,544	△ 117,541,695	58,217,275	△ 294,223,815	69,031,229
売買益	41,857,570	280,260	71	58,220,944	1,968,894	69,023,579
売買損	△ 745,010	△ 24,838,804	△ 117,541,766	△ 3,669	△ 296,192,709	7,650
(C) 信託報酬等	△ 1,864,613	△ 2,066,226	△ 2,780,381	△ 3,067,037	△ 3,984,601	△ 4,276,251
(D) 当期損益(A+B+C)	83,016,537	24,075,715	△ 44,633,631	130,806,006	△ 202,606,474	180,256,051
(E) 前期繰越損益金	△ 80,446,793	△ 30,033,798	△ 46,914,791	△ 138,706,518	△ 65,658,954	△ 339,222,594
(F) 追加信託差損益金	△ 709,255,940	△ 883,715,637	△ 1,030,717,017	△ 1,289,091,332	△ 1,646,208,522	△ 2,045,061,261
(配当等相当額)	(704,264,530)	(933,848,422)	(1,117,302,089)	(1,436,138,617)	(1,828,740,100)	(2,272,245,552)
(売買損益相当額)	(△1,413,520,470)	(△1,817,564,059)	(△2,148,019,106)	(△2,725,229,949)	(△3,474,948,622)	(△4,317,306,813)
(G) 合計(D+E+F)	△ 706,686,196	△ 889,673,720	△ 1,122,265,439	△ 1,296,991,844	△ 1,914,473,950	△ 2,204,027,804
(H) 収益分配金	△ 33,017,062	△ 40,956,783	△ 47,360,067	△ 58,164,083	△ 71,280,648	△ 85,916,428
次期繰越損益金(G+H)	△ 739,703,258	△ 930,630,503	△ 1,169,625,506	△ 1,355,155,927	△ 1,985,754,598	△ 2,289,944,232
追加信託差損益金	△ 709,255,940	△ 883,715,637	△ 1,030,717,017	△ 1,289,091,332	△ 1,646,208,522	△ 2,045,061,261
(配当等相当額)	(704,264,530)	(933,848,422)	(1,117,302,089)	(1,436,138,617)	(1,828,740,100)	(2,272,245,552)
(売買損益相当額)	(△1,413,520,470)	(△1,817,564,059)	(△2,148,019,106)	(△2,725,229,949)	(△3,474,948,622)	(△4,317,306,813)
分配準備積立金	211,965,062	216,763,739	242,311,383	257,717,566	276,471,853	303,116,598
繰越損益金	△ 242,412,380	△ 263,678,605	△ 381,219,872	△ 323,782,161	△ 616,017,929	△ 547,999,569

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,807,195円	48,634,259円	72,908,063円	73,922,584円	91,617,340円	112,824,566円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	704,264,530	933,848,422	1,117,302,089	1,436,138,617	1,828,740,100	2,272,245,552
(d) 分配準備積立金	202,174,929	209,086,263	216,763,387	241,959,065	256,135,161	276,208,460
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	949,246,654	1,191,568,944	1,406,973,539	1,752,020,266	2,176,492,601	2,661,278,578
(f) 分配金	33,017,062	40,956,783	47,360,067	58,164,083	71,280,648	85,916,428
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	916,229,592	1,150,612,161	1,359,613,472	1,693,856,183	2,105,211,953	2,575,362,150
(h) 受益権総口数	2,751,421,844口	3,413,065,281口	3,946,672,331口	4,847,006,978口	5,940,054,051口	7,159,702,411口

収 益	分 配 金 の お 知 ら せ					
	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	120円	120円	120円	120円
(単 価)	(7,312円)	(7,273円)	(7,036円)	(7,204円)	(6,657円)	(6,802円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド
α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド α50クラス／α100クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2017年7月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2016年5月31日

資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	\$ 8,204,764
現金および現金同等物	476,521
未収：	
売却済み証券	277,053
資産合計	8,958,338
負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	158,338
未払：	
購入済み証券	283,896
受益証券の買戻し	268,698
専門家報酬	16,802
受託会社報酬	10,000
管理会社報酬	7,581
保管会社報酬	7,290
報酬代行会社報酬	3,113
副投資運用会社報酬	1,929
名義書換代理人報酬	1,160
その他負債	6,197
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	765,004
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$ 8,193,334

包括利益計算書

2016年5月31日に終了した年度

収益	
受取利息	\$ 934,265
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失	(467,212)
外国為替取引による純実現利益	46,014
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価益の純変動	816,763
外国為替換算による評価益の純変動	162
収益合計	1,329,992
費用	
保管会社報酬	45,274
管理会社報酬	45,081
副投資運用会社報酬	22,158
専門家報酬	16,802
報酬代行会社報酬	16,523
名義書換代理人報酬	8,673
受託会社報酬	6,653
雑費	6,625
設立費用	1,058
費用合計	168,847
金融費用控除前営業利益	1,161,145
金融費用	
償還可能受益証券の所有者への分配	(4,423,711)
分配後および税引前損失	(3,262,566)
源泉徴収税	(167,308)
業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	\$ (3,429,874)

投資明細
2016年5月31日

債券
ブラジル

NOTA DO TESOU 6% 05/15/45/BRL/	\$	232,776.93
NOTA DO TESOURO 6% 5/15/17/BRL		199,959.54
NOTA DO TESOU 6% 08/15/50/BRL/		275,890.17
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/		1,055,339.26
NOTA DO TESOU 6% 08/15/16/BRL/		1,132,814.16
NOTA DO TESOU 6% 08/15/22/BRL/		804,776.79
LETRA TESOUR ZCP 01/01/18/BRL/		1,030,225.15
LETRA TESOUR ZCP 07/01/18/BRL/		1,078,316.21
LETRA TESOUR ZCP 01/01/19/BRL/		2,277,779.01
NOTA DO TESOU 6% 05/15/55/BRL/		116,887.27
		8,204,764.49

仕組スワップ契約
α100クラス - 2016年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-1.5%）

戦略	決済期日	カウンターパーティー	名目元本	公正価値
FX Option Overlay	2016/6/6	Credit Suisse International	\$ 5,590,127	\$ (126,225)

α50クラス - 2016年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.4%）

戦略	決済期日	カウンターパーティー	名目元本	公正価値
FX Option Overlay	2016/6/6	Credit Suisse International	\$ 2,844,405	\$ (32,113)

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第29期の決算日（2017年7月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

買			売		
銘	柄	付 金 額	銘	柄	付 金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100			
669	国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099			
657	国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055			
659	国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077			
652	国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020			
642	国庫短期証券 2017/2/6	2,400,035			
644	国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088			
651	国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049			
660	国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027			
650	国庫短期証券 2017/6/12	1,240,022			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2017年7月18日現在における該当事項はありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2016年12月9日）

（計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

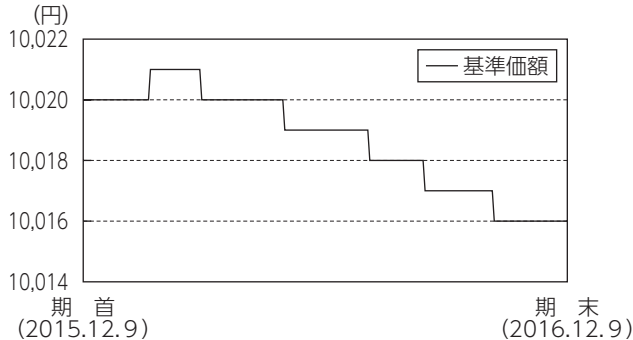
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	公 社 債 率	
		騰 落 率	組 入 比 率
(期首)2015年12月9日	円 10,020	% -	% 52.7
12月末	10,020	0.0	52.0
2016年1月末	10,020	0.0	61.6
2月末	10,021	0.0	48.5
3月末	10,020	0.0	32.1
4月末	10,020	0.0	24.5
5月末	10,019	△0.0	10.5
6月末	10,019	△0.0	10.5
7月末	10,018	△0.0	19.3
8月末	10,017	△0.0	46.5
9月末	10,017	△0.0	26.1
10月末	10,016	△0.0	3.4
11月末	10,016	△0.0	26.7
(期末)2016年12月9日	10,016	△0.0	28.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,020円 期末：10,016円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっており、引き続き流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
	千円	千円
国債証券	48,041,830	(51,515,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当 期		期 付	
買 付 額	売 付 額	買 付 額	売 付 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	4,500,177		
613 国庫短期証券 2016/9/12	3,790,054		
601 国庫短期証券 2016/7/19	3,150,065		
611 国庫短期証券 2016/9/5	3,010,051		
629 国庫短期証券 2016/11/28	2,440,076		
586 国庫短期証券 2016/5/12	2,000,342		
607 国庫短期証券 2016/8/15	1,980,036		
609 国庫短期証券 2016/8/22	1,940,045		
610 国庫短期証券 2016/8/29	1,920,037		
632 国庫短期証券 2016/12/12	1,890,066		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	5年以上 2年以上 2年末満	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	%
国債証券	2,960,000	2,960,056	28.2	—	28.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期 末			
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	632 国庫短期証券	%	千円 1,890,000	千円 1,890,015	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	320,000	320,006	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	750,000	750,034	2016/12/26
合計	銘柄数 金 額	3銘柄	2,960,000	2,960,056	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,960,056	% 27.4
コール・ローン等、その他	7,832,675	72.6
投資信託財産総額	10,792,732	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,792,732,361円
コール・ローン等	7,832,629,033
公社債(評価額)	2,960,056,480
その他未収収益	46,848
(B) 負債	300,005,700
未払金	300,005,700
(C) 純資産総額(A－B)	10,492,726,661
元本	10,476,400,958
次期繰越損益金	16,325,703
(D) 受益権総口数	10,476,400,958口
1万口当り基準価額(C／D)	10,016円

* 期首における元本額は12,186,116,869円、当期中における追加設定元本額は1,736,323,360円、同解約元本額は3,446,039,271円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ39,455,979円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－1,078,302,562円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 7－1,257,987,220円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型 ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型 ダイワ／NＢ・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス－インカムチェンジ（積立型）－1,527,685円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－1,088,870,549円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,016円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,082,398円
受取利息	1,776,408
その他収益金	46,848
支払利息	△ 2,905,654
(B) 有価証券売買損益	△ 3,128,171
売買益	40
売買損	△ 3,128,211
(C) その他費用	△ 111,607
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 4,322,176
(E) 前期繰越損益金	24,173,441
(F) 解約差損益金	△ 6,316,919
(G) 追加信託差損益金	2,791,357
(H) 合計(D + E + F + G)	16,325,703
次期繰越損益金(H)	16,325,703

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。